

【目標】

「特別支援学校作業技能大会」を通して、生徒の学習や進路に対する意欲付けを図り、生徒の取り組む姿を県民や企業等に伝える機会とし、福島の未来を担う人材を育成する。

①産業現場等における実習の充実 「特別支援学校作業技能大会」の開催

【事業内容】

1 作業技能検定の実施

- ◇ 「ビルクリーニング」
- ◇ 「喫茶接客サービス」
- ◇ 「PCデータ入力」
- ◇ 「店舗販売(品出し)」



※ 規定の課題に取り組み、専門家による評価を受ける。

2 作業製品の品評

- ◇ 生徒による作業製品のプレゼンテーションを実施するとともに、専門家による評価を受ける。

3 あん摩・鍼施術の評価

- ◇ 生徒によるあん摩・鍼施術を実施するとともに、専門家による評価を受ける。

②進路指導・就労支援に関する専門性の向上 進路指導の充実

1 一人一人の進路実現を図る進路指導の実施

- ① 進路指導・就労支援に関する専門性の向上
 - ・ 外部専門家を活用し、企業の情報や就労支援に関する情報を得る。
- ② 産業現場等における実習の実施
 - ・ 地域企業等と連携し、実習を実施する。
 - ・ 産業人材育成課と連携し、特別支援学校早期訓練コースを活用する。

2 関係機関と連携した支援の強化

- ① 障がい者雇用と職場定着に関する企業等への発信
 - ・ 特別支援学校高等部の取組を、広く県民に紹介する。
- ② 障がい者就業・生活支援センター等との連携強化
 - ・ 各学校と障がい者就業・生活支援センターとの連携を図る。
 - ・ 労働局主催の「障害者就職面接会」へ参加する。
 - ・ 「県自立支援協議会就労部会」に参加し、各関係機関との連携を図る。

3 進路支援チームによる連携した取組

- ① 各校進路指導主事による指導事例の研究
- ② 企業関係者との意見交換（年3回）



生徒の技術・技能

企業の理解・展開

保護者の理解



3つの高まりから進路実現を推進する